

7/4 子育て中のママを激励!
ファミリーコンサートを開催

“社会を明るくする運動”の広報啓発事業として、荒尾市出身のタレント「パブリーたまみ」ファミリーコンサートがエポックあらおで開催されました。パブリーダンスのパワフルなステージや親子で楽しめるゲームなど、みんなで一緒になって楽しめるひとときを過ごしました。たまみさんの「皆さんは子育てに頑張っているのですよ!」という力強いメッセージに勇気づけられたと涙ぐむお母さんもいて、これからの家族のありかたを考える良い機会になりました。



7/18 荒文子ども劇団ステージ☆キッズ
第3回公演が閉幕

今回上演したのは『青い森のおはなし』。～きみが守りたいもの～とサブタイトルがついたこの物語は、小学5年生から高校1年生の12人の子どもたちが環境・人権問題をテーマに考え、小道具・衣装・舞台装置などのプランも子どもたちが立てました。コロナ禍で練習もままならない中、文化センターの臨時体館が終わった6月下旬から練習を再開、3日間の練習で公演日を迎え、100人限定の客席は満員でした。子どもたちはみんな生き生きと表現し、観る人から感動の拍手が鳴り止みませんでした。



荒尾総合文化センター自主文化事業

7/30 体験教室でわくわくな一日!
体験教室「^{たいしじゆく}岱志塾」を開催

岱志高校で「岱志塾」を開催しました。ボランティアとして高校生が指導者となり、高校生と小学生が触れ合う中で、学ぶこと・教えることの楽しさと大切さを体験できるイベントです。今回は、荒尾干潟の生き物観察・科学おもちゃ作成・陶芸教室や書道体験を開催し、市内各小学校から、30人が参加しました。荒尾干潟に生息する多様な生物に目を丸くして眺めたり、書道体験で制作したオリジナルうちわを嬉しそうに眺めたりする子どもたちの生き生きとした姿がありました。陶芸教室に参加した児童は、「自分だけの器を作れて楽しかった。」と話していました。



まちの話題

Arao City News

荒尾市の気になる話題をお届け!

100歳おめでとうございます!
河村 キヨ子さん(菰屋北区)

8月25日に100歳の誕生日を迎えられました。植木町のスイカ農家に生まれ、結婚後は荒尾梨の栽培を80歳まで続けていました。長寿の秘訣は歌うこと。現在は、施設でリハビリを受けながら会話能力の向上を目指されています。



地域の活動掲示板 荒尾市ではさまざまな活動が行われています!

海の美術館



SDGs14 「海の豊かさを守ろう」
有明元気づくり

7/24

有明元気づくり有明海部会では「海と友達になろう!」を合言葉に、蔵満海岸に壁画を飾る「海の美術館」に取り組んでいます。今年是有明小学校の児童や三池工業高校美術部の生徒が、アトリエ珍文館主宰の今田平さんからアドバイスを受けながら、夏らしいスイカや魚などの作品をパネルに描きました。荒尾干潟を散策される際には、海の美術館をぜひご覧ください。

万田中央ふれあいハウスのフェンスペインティング



SDGs4 「質の高い教育をみんなに」
万田中央地区協議会万なかの会

7/31

万田中央地区協議会万なかの会では、子どもたちの夏休みの思い出作りに、地域の拠点である万田中央ふれあいハウス(旧第三小学校跡地)のフェンスにペンキを塗りました。今後は虹色のフェンスに風車を取り付けられる予定で、ますます注目のスポットに発展していくことが期待されます。ふれあいハウス入口には、きれいな花壇も整備されており、地域の人たちも立ち寄り、楽しんでいます。

7/31 開館時間を2時間延長して
「納涼!よる図書館」を開催

市立図書館で『納涼!よる図書館』と題し、開館時間を2時間延長しました。当日は、おはなし会や隣接する中央公民館で星空観測会なども実施。本を借りた子どもを対象に職員手作りのバルーンアートのプレゼントを行うなど、仕事や家事などでなかなか来館しづらい人に夏の夜を楽しく過ごしてもらうことを目的とした初の企画。来館者からは、「コロナ禍なので、このような楽しいことを企画をしてくれて嬉しかったです。」という声もいただくことができました。



おはなし会の様子。家族連れの参加が多くありました。

7/4 荒尾干潟の日を記念して
干潟の生きもの観察会を開催

荒尾干潟保全・賢明利活用協議会の主催で、荒尾干潟の大切さや生物の多様性の保全を伝えるために、荒尾干潟がラムサール条約湿地に登録された7月3日を記念し、『干潟の生きもの観察会』を開催しました。7組24人の参加者が荒尾干潟に入り、それぞれ思い思いに干潟の生きものを探して、名前を調べました。カニやイソテッポウエビなど36種の底生生物が確認され、荒尾干潟の生きもの豊かさ、種類の多さを学ぶ体験をしました。



皆さんから 小学生の 書初め 大募集!!

広報あらお1月号の紙面で書初め大会を開催!
小学生の皆さんの2022年の抱負を募集します!
採用された人は、広報あらお1月号の紙面に掲載させていただきます。

対象 市内の小学校に通う1年生～6年生

お題 新年の抱負
新年の抱負を1字～6字以内で墨書きしてください。

応募方法

- 横210mm×縦297mm(A4サイズ)の白用紙に縦書きで「新年の抱負」を1字～6字で墨書きし、用紙の左に学年・氏名を記入すること。
- 作品とは別の用紙に、①住所 ②氏名(ふりがな) ③電話番号 ④学年 ⑤学校名 ⑥書初めの文字を選んだ理由を明記した紙を添えて、下記応募先までご郵送ください。

応募先

〒820-0005
福岡県飯塚市新飯塚21-26 ASビル 3F
株式会社NOTE 広報あらお編集部
※応募先が県外のため、日程に余裕をもってお送りください。

募集期限
11月12日(金)必着

採用者の発表

広報あらお1月号で、採用者25人程度を発表します。
※応募多数の場合は抽選となります。

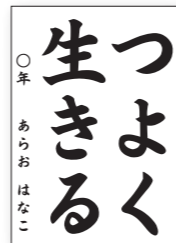
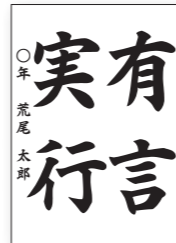
採用された人には広報あらお編集部から
図書カードをプレゼント!

【注意事項】 ※採用された人は広報あらおに作品・学校名・学年・名前、一部の人のみ書初めの文字を選んだ理由を掲載します。採用された人の中から数名に広報あらお編集部がご連絡してインタビュー・撮影をさせていただく場合があります。 ※応募作品は返却いたしません。

紙面リニューアルにつき、「広報あらお」の表紙に掲載する題字の募集は来年度からなくなります。これまでご応募いただいた皆さまありがとうございました。ぜひ、書初め大会へご応募ください。

株式会社NOTE 広報あらお編集部 ☎0948-52-3244

作品例



人権集会では、全校児童がクラス毎に取り組んだことなどを発表しました。

自転車の正しい乗り方、横断歩道の渡り方などを実際に体験しました。

わたしたちの 学校自慢

今月の学校自慢

有明小学校



創立148年の伝統がある有明小学校は、「互いに人権を尊重し合い、自ら考え、思いやりの心を持った心身ともにたくましい子どもの育成」を教育目標とし、目標を達成するために「安心して思いを出し合える学級集団の育成」「わかる・できるを実感し、自ら学び続ける集団の育成」「創造的な協働活動を推進する自治的集団の育成」の3本柱で取り組んでいます。

そして、総務委員会の児童を中心に、あいさつ運動に取り組むなど、とてもやる気があり、明るく元気な子どもたちばかり。さらに、有明小学校は「仲間づくり」も進めていて、児童同士だけでなく先生や地域の方々まで、とても仲が良い学校です。

また、校区内にはラムサール条約湿地にも登録されている自慢の荒尾干潟があり、みんなで海の清掃をしたり、海の生き物に触れたり、有明海や水鳥湿地センターを中心にした環境教育に力を入れています。

児童が選んだうちの学校自慢!

有明小は仲間を大切にしている、困っている人をみんなで助け合える、思いやりのある子どもたちです。登校時は地域の方々「あいさつ」をしながら見守ってくださるので校区が明るくなります。自慢の学校であり、自慢の地域です。



総務委員長 6年生
なかおかのぞみ
中岡 希海さん

みんなに人気の吉坂先生



子どもたちを引きつける魅力がある吉坂先生
ユニークでお話し上手な吉坂先生は、子どもたちにとっても人気の先生です。算数の少人数指導に取り組みされていて「みんなが楽しく、よく分かる授業」を目指しているそうです。
「有明小の児童は、明るく素直で元気がいい。そして、どんなことにも、やる気満々の子どもたちです。これからも明るく元気、目の前のことにチャレンジし、家族や故郷のことを大切にできる人に育ってほしい。」と吉坂先生は話されていました。



よしがた ひでき
吉坂 英樹先生